

研究計画書

ゼミ名	石川ゼミⅡ	チーム名	ろこふあむ
タイトル	親と子		
テーマ群	c)公共経済		
メンバー	小川 実・小浜 唯・金子 友美・仮谷 志信・川田 和輝・五味 大貴・須賀 翔子・菅 智毅・辻 菜央・沼野 孝彰・畑 秀香・林 良磨・原田 茜・松本 陽介・宮本 ゆかり・森 大樹・門司 沙矢香・柳 裕貴・矢羽野 汐里・吉田 大世		
研究計画内容	<p>昨今の日本において大きな問題となっている「少子化問題」。</p> <p>連日ニュースでも大々的に取り上げられ、政府も次々に対策を打ち出しています。</p> <p>でも、ちょっと待ってください。</p> <p>ニュースを見る限り、政府は主に重点を置いているのは子どもの出生数を増やすこと。確かにそれも大切なことです。</p> <p>でも、生まれた後の子どもたちの生活の“質”についてはどうでしょう？この社会は本当に子どもたちにとって暮らしやすい社会でしょうか？</p> <p>最近ニュースで虐待という言葉をよく耳にします。物が豊かになった反面、心の豊かさは失われているように思います。これは、必ずしも生活の質の向上に結びついていないということです。</p> <p>そんな中、私たちは子どもの生活の質にかかわる制度として「児童養護施設」と「里親制度」について注目しました。そこで私たちは調べていくうちに、それぞれが多くの問題を抱えていることを知りました。</p> <p>そこで今回の発表では様々な親子の形を通じて、“親と子”に必要なものは何か？子どもの生活の質の向上のために私たちができることは何か？を探っていきたいと思います。</p> <p>私たち石川ゼミは石川先生を中心にとっても明るく楽しいゼミです。</p> <p>初めて聞く人に興味を持って楽しんで聞いてもらうにはどうしたらいいか常に考えながらプレゼンしてきました。施設や里親という言葉をきくとマイナスイメージをもっている人が多いのではないのでしょうか。私たちの発表でみなさんのイメージを変えて見せます。</p> <p>石川ゼミらしく全力で頑張るのでぜひ、私たちの発表にぜひ足を運んで下さい。</p>		